

平成19年度 帯広市農業技術センター 活動内容



平成19年7月

帯広市農業技術センター
(帯広市農政部農政課)
(帯広市農業振興公社)

平成19年度 帯広市農業技術センター業務とサービス一覧

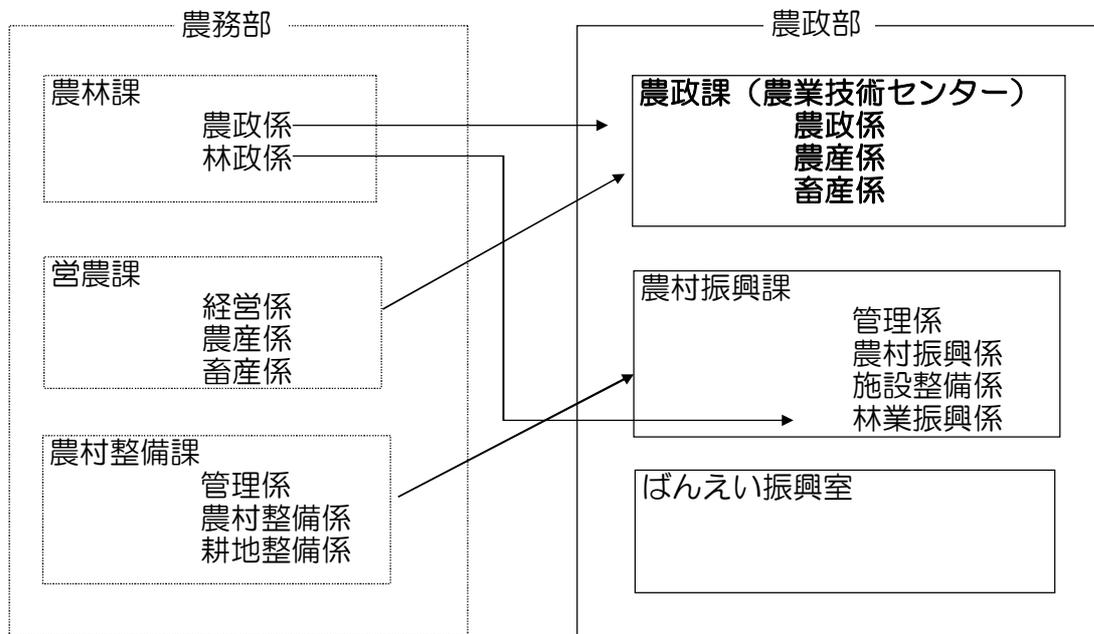
区 分 項 目		内 容	担当係		
			農政	農産	畜産
関係機関との連携		帯広市農業施策推進委員会の運営（人材養成部門、営農技術部門、環境配慮型農業推進部門、食の安全安心推進部門）	◎	○	○
情報提供	気象情報の収集と提供	5ヶ所の気象ロボットからデータ収集提供、病害虫発生予察		○	
	営農技術情報	定例情報：5月15日から10月15日まで11回の作況調査に基づき発行		◎	○
	生産現場の情報公開	生産者のホームページ立ち上げ支援	○		
研修	各種経営研修会	農業者の経営管理能力の向上を目的としたパソコン、農業簿記、ホームページ作成研修会等の実施、品目横断的経営安定対策対応	○		
	JICA研修員の受入れ	アジア・アフリカ畑地帯普及職員コース、ゼロエミッションコース、その他	◎	○	○
	その他研修の受け入れ	高校生・大学生インターシップ、教員研修、その他	◎	○	○
育人 人材	認定農業者の育成・確保	品目横断的経営安定対策等、様々な施策の転換に対応した、効率的かつ安定的な地域の担い手としての認定農業者の育成・確保	○		
	十勝ふるさと農学校（元気塾）	就農して間もない農家後継者等を対象とした講座、研修会の開催	○		
	十勝ふるさと農学校（達人塾）	就農から5年程度経過し、近い将来経営主となる農業者を対象とした講座、研修会の実施	○		
	新規就農者支援（実践塾）	新規就農希望者への就農支援	○		
資 金	各種制度資金、利子補給	農業経営基盤強化資金、農業近代化資金等各种制度資金計画の一時審査、認定農業経営基盤強化資金等の借入者に対し、利子の一部を補助	○		
	帯広市農林業育成資金の貸付	地域農業後継者の育成、確保を目的とした市独自の資金貸付	○		
農産振興	生産技術普及と指導	作況調査の実施（5月～10月 11回） 生産現場における実証試験		◎	○
	クリーン農業の推進	YES!clean認証に関する支援、クリーン農業の現地実証支援、土作りの推進支援（景観緑肥など）、地下水の硝酸性窒素調査、適正施肥管理の推進		○	
	環境に配慮した農業の推進	農業廃棄物適正処理の啓発		◎	○
	高収益作物の導入促進	新規作物の導入調査・試験（サツマイモ）		○	
食の安全・ 安心推進	食育の推進	食育推進計画の作成、食育展示ほの設置と見学受け入れ、学校における体験農園への指導、帯広っ子農業体験学校の開催、学童農園（市民農園）における農業体験の提供	◎	○	○
	地産地消と消費者への農業理解促進	八千代牧場まつりの実施、「いのちを育む大地へのうた」短歌賞の実施、とかち大平原交流センターの管理運営、帯広の森市民農園の管理運営、小麦の地産地消推進、生産現場へのバスツアー開催、食の安全安心推進センター対応、収集農機具の展示活用	○	◎	○
	農畜産物の消費拡大	大朝市の開催（競馬場、ホコテン）、帯広農産物小規模加工研究会支援、美味とかち大収穫祭支援	○	◎	○
	安全・安心な農産物の生産	野菜の硝酸性窒素含有量の検査		○	

畜 産 振 興	畜産振興全般	畜産振興全般に関する事務			○
	畜産加工研修センター・カウベルハウスの管理運営	ふれあい牧場機能の充実を図る			○
	乳質改善	帯広市畜産センターなど関係機関と協力して乳質の改善			○
	畜産環境対策・家畜衛生対策	畜産廃棄物の処理対策など環境対策を関係機関と連携して実施 自衛防疫組合等関係機関と連携して家畜伝染病の予防を実施			○
	八千代公共育成牧場の管理運営	牧場の管理運営			○
	牛乳・乳製品の消費拡大	生産者、農協等関係機関と連携し、近年消費量が落ち込んでいる牛乳・乳製品の消費拡大に向けた取り組みを実施			○
そ の 他	バイオマスの利活用	バイオマスプラスチック製長いもネットの普及推進、豆がらの利活用検討、農産残さの飼料化検討		◎	○
	新技術調査研究助成事業	農業者の取り組みを支援（帯広市農業施策推進委員会）			○

*詳しい業務内容等につきましては、農業技術センターホームページをご覧ください。

アドレス：www.agricenter-obihiro.jp

平成19年4月から機構改革により
農務部 農林課、営農課 ⇒ 農政部 農政課へとかわりました



1. 平成18年度 事業報告

主な事業について

農政係

実践塾への活動支援

北海道の担い手支援制度等を活用し、就農予定者が本格的に就農するために、18年度は5名の塾生を支援しました。実践ほ場のビニールハウスにて、ほうれん草、露地だいこん他の栽培実習等を行いました。



実践ほ場での作物栽培実習の様子

達人塾・元気塾への活動支援

農業技術、経営管理能力等の向上を目的に、就農から5年程度経過し、今後経営主を目指す農業者を対象とした塾（達人塾）、地域のことをより身近に知る機会の提供や、より視野を広げることを目的に、就農まもない後継者を対象にした塾（元気塾）を開講しました。18年度は達人塾5期生13名、元気塾4期生16名が受講し、幅広い分野から講師を招き、20回講座、研修会を行ないました。



達人塾・元気塾研修会
(帯広卸売市場見学)

冬期研修会の実施

農作業に余裕のできる冬期間（11月～2月）を利用して、経営管理分析能力の向上や、これからの情報化社会における経営感覚を身につけることができるよう、パソコンを使った様々な研修会を開催しました。

18年度は、パソコンの基礎的な知識を学ぶ研修や、簿記の知識を身に付ける研修、ホームページの作成を学ぶ研修、さらには、国の新たな「食料・農業・農村基本計画」に基づく品目横断的経営安定対策の導入に向けて、担い手となる認定農業者の方を対象とした研修会などを実施しました。



パソコン研修会の様子

農業理解の促進

農業者と市民との交流、市民への農業に対する理解の促進を目的に、「第27回八千代牧場まつり」を6月18日（日）に帯広川西・大正両農協、帯広物産協会、八千代牧場まつり協力会等の協力を得て、実施しました。

また、大地・風土など自然への思い入れを「短歌」として応募していただく「いのちを育む大地へのうた-短歌賞-（第11回）」を今年度も実施し、全国約1,000名の方から応募がありました。

「大正メークインまつり」・「帯広ホースフェスティバル」への協力も行ないました。



八千代牧場まつり
「牧草ロール競争」の様子

農産係

作況調査・技術対策と営農技術情報の発信

関係機関と連携し、5月中旬から10月中旬にかけ11回作況調査を行いました。その結果に基づき技術対策会議を行い、技術対策などを盛り込んだ営農技術情報の作成し生産者全戸に配信しました。また、市内5箇所の気象ロボットからリアルタイムの気象データを回収・提供し営農に役立てています。



関係機関との作況調査

クリーン農業の推進

北海道の認証制度である「YES! clean」や「エコファーマー」取得推進をしました。
野菜に含まれる硝酸性窒素量を調べたり、地下水に含まれる硝酸性窒素の調査を行いました。また、クリーン農業の規格や取り組みをPRしました。



PR活動（みんなの消費生活展）

食育の推進

・食育展示ほでの小、中学生の食育見学を受け入れ、地元で作られている作物を見たり、さわったり、食べたりしてわかりやすく感じ取れるようにしています。
・帯広っ子農業体験学校では、農家の方に先生とってもらい、作物の事についての体験学習を実施しています。
帯広の森市民農園（サラダ館）にて、小中学生に播種、草取り、収穫を体験してもらいました。



帯広っ子農業体験学校
アスパラの収穫

環境に配慮した農業の推進

・野焼きの防止と有機資源の循環利用のためにバイオマスプラスチック製長いもネットの導入支援を行いました。（バイオマス活用フロンティア推進事業）取り組みは74戸、面積97haに拡大し、堆肥化マニュアルを作成・配布しました。
・農薬空容器回収袋を全戸配布して、処理コストの低減とリサイクルの向上を図りました。



バイオマスプラスチック製長いもネットの一括集中堆肥化処理試験

農産物の消費拡大

・競馬場における「大朝市」を開催し好評を博しました。
・帯広農産物小規模加工研究会の活動を支援しました。地元農産物の加工を推進しています。



競馬場での大朝市の開催

畜産係

八千代公共育成牧場

(株)帯広市農業振興公社と協力し、主に自給飼料基盤の拡大、育成部門の分離による酪農経営の合理化を目的とし、農家さんから預かった乳牛等の育成等を行いました。

平成18年度の利用状況（延べ頭数）

牛：放牧159,776頭、舎飼143,558頭

馬：8,632頭



牧場風景

家畜衛生の促進

十勝家畜保健衛生所、十勝中部地区農業改良普及センター、農協、NOSAI、帯広市家畜伝染病自衛防疫組合等との協力のもと、定期的なワクチン接種や畜舎消毒実施、防疫資材の購入助成等により、家畜伝染病の予防を行いました。



検査を受ける牛

牛乳・乳製品の消費拡大

低迷する牛乳・乳製品の消費拡大の一環として、市内飲食店と連携した牛乳料理スタンプラリーや産地と大消費地をつなぐ農畜産物PRイベントの開催と、食育推進として牛乳パックコンペティションと牛乳に関する絵本を作製し、幼稚園・小学校などに配布いたしました。



農畜産物PR風景

振興公社 生産技術部

営農生産技術指導

広域畜産専任職員1名、JA帯広かわにし専任職員1名、ほ場管理企画とクリーン農業兼任職員1名を配置し、生産集団への助言や、個別農業者に対する生産技術指導にあたり、関係機関からの課題解決を図るために現地に試験ほを設置しています。



現地指導のようす

食育展示ほの設置

学校教育での「食と農」への関心の高まりから技術センターほ場において十勝での主要農作物をわかりやすく栽培展示し「食育」の一助として活用しました。（展示品目：ばれいしょ、てん菜、麦類、豆類、長いも、ダイコン、ゴボウ、ニンジン、アスパラ、スイートコーン等）



食育展示ほ

農業塾生及びJICA研修員への研修指導

新規就農を志す農業塾生（2名）に対する生産技術指導や、JICA研修生（畑地帯管理コース 10カ国10名、）を受け入れ、畑作物栽培技術、土づくり、病虫害、防除等について講義及び実習について指導しました。



JICA「畑地帯管理コース」実習風景

帯広市の農業統計と概要

1) 農家戸数と認定農家数（平成18年）

農家戸数	専業	1種兼業	2種兼業
740	588	146	6

認定農家数	うち法人	うち女性
712	40	12

家族経営協定締結農家数
211

2) 耕地面積（平成18年 単位：ha）

合計			
	田	畑	樹園地
20,512.6	0	20,512.0	0.6

1戸当たり耕地面積
27.7

3) 農業産出額（平成18年産推計値 単位：百万円）

合計	耕種合計							
	米	麦類	豆類	馬鈴しょ	野菜・花き（内ながいも）	てん菜		
25,680	19,615	0	5,529	1,518	4,243	4,497	2,596	3,828
	畜産合計							
	肉用牛	乳用牛（内生乳）	豚	鶏	その他			
	6,065	1,817	3,880	3,263	309	21	38	

4) 主要農作物作付面積及び収穫量（平成18年産推計値）

作物名	単位	小麦	馬鈴しょ	大豆	小豆	手亡	金時	うずら	てん菜
面積	ha	7,070	3,620	498	1,210	202	410	14	3,760
反収	kg/10a	480	3,430	315	288	282	200	21	5,950
収穫量	t	35,712	124,166	1,322	3,485	567	820	31	223,720
作物名	単位	サイレージ用と うもろこし	牧草	ながいも	だいこん	にんじん	ごぼう	アスパラガス	スイート コーン
面積	ha	820	820	474	208	97	97	54	523
反収	kg/10a	5,280	3,650	3,362	4,400	2,980	2,170	235	1,190
収穫量	t	43,296	111,690	15,936	9,152	2,891	2,105	120	6,220

5) 家畜飼養頭数 平成18年

区分	飼養農家戸数	飼養羽頭数
乳用牛	98	9,084
肉用牛	14	9,099
馬	13	284
豚	5	6,830
鶏	1	8,500

8) 平成18年度 予防接種の実施状況

ワクチン種類	接種頭数
豚丹毒	0
牛IBR	7,510
牛IBR嫌気3種同時	170
牛5種混合（生）	324
牛嫌気3種	425
牛嫌気3種5種（生）同時	796
アカバネ	187
馬3種混合	12
合計	9,424

6) 出荷乳量（18年度合計）

46,064

7) 八千代公共育成18年度牧場利用実績（牛）

夏期放牧	159,776
冬期舎飼	143,558
計	303,334

※各牛の預託日数の合計



発行：帯広市農業技術センター（帯広市農政部農政課）

〒089-1182 帯広市川西町基線61番地

TEL：0155-59-2323 FAX：0155-59-2448

e-mail：agri_center@city.obihiro.hokkaido.jp

URL：http://www.agricenter-obihiro.jp

気象情報・病害虫発生予察情報は上記農業技術センターホームページと携帯電話（<http://www.agw.jp/obihiro/mob>）から見るすることができます。



携帯電話QRコード